



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社シイエム・シイ
 コード番号 2185 URL <http://www.cmc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐々 幸恭
 (氏名) 杉原 修巳

TEL 052-322-3351

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	11,562	△1.2	704	△30.5	659	△39.7	357	△40.2
27年9月期第3四半期	11,702	4.2	1,014	21.8	1,094	22.5	597	14.7

(注)包括利益 28年9月期第3四半期 323百万円 (△49.8%) 27年9月期第3四半期 644百万円 (12.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	150.87	145.08
27年9月期第3四半期	257.66	242.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	14,581	11,049	75.4
27年9月期	15,468	10,892	70.4

(参考)自己資本 28年9月期第3四半期 10,988百万円 27年9月期 10,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	85.00	85.00
28年9月期	—	0.00	—		
28年9月期(予想)				85.00	85.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,586	1.5	1,328	△28.5	1,344	△30.7	810	△19.2	341.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期3Q	2,371,500 株	27年9月期	2,370,500 株
28年9月期3Q	374 株	27年9月期	374 株
28年9月期3Q	2,370,768 株	27年9月期3Q	2,320,188 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくものと考えられます。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがあります。こうしたなかで、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

このような経済環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、11,562百万円(前年同期比140百万円減、同1.2%減)、営業利益は704百万円(前年同期比309百万円減、同30.5%減)、経常利益は659百万円(前年同期比434百万円減、同39.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は357百万円(前年同期比240百万円減、同40.2%減)となりました。

これをセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(マーケティング事業)

インターナル・マーケティングは、自動車関連分野において国内における社内向けのブランド浸透を目的とした大型イベント案件があったほか、海外における案件の増加があり、売上高は2,307百万円(前年同期比328百万円増、同16.6%増)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、自動車関連分野においてブランドイメージ向上支援案件や販売促進案件の増加があり、売上高は1,189百万円(前年同期比218百万円増、同22.5%増)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、自動車関連分野において使用説明書案件や修理書案件の減少があり、売上高は5,372百万円(前年同期比874百万円減、同14.0%減)となりました。

トータルプリンティングは、自動車関連分野において印刷案件の増加があり、売上高は1,105百万円(前年同期比32百万円増、同3.1%増)となりました。

その他については、取引先からの業務受託案件や人材派遣案件があり、売上高は358百万円(前年同期比117百万円増、同48.8%増)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は10,333百万円(前年同期比178百万円減、同1.7%減)、営業利益は803百万円(前年同期比284百万円減、同26.1%減)となりました。

(システム開発事業)

ソフトウェア受託開発を主力とするシステム開発事業は、物流関連分野において案件の増加があり、売上高は1,229百万円(前年同期比38百万円増、同3.2%増)となりました。営業利益は34百万円(前年同期比24百万円減、同41.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より886百万円減少し、14,581百万円(前連結会計年度末比5.7%減)となりました。これは主として、たな卸資産の増加が663百万円あったものの、受取手形及び売掛金の減少1,933百万円によるものであります。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より1,044百万円減少し、3,531百万円(前連結会計年度末比22.8%減)となりました。これは主として、未払法人税等の減少458百万円、支払手形及び買掛金の減少334百万円によるものであります。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末より157百万円増加し、11,049百万円(前連結会計年度末比1.4%増)となりました。これは主として、利益剰余金の増加146百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月10日付の「平成27年9月期決算短信」にて発表しました業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正にともない、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,713,386	5,793,747
受取手形及び売掛金	3,770,341	1,836,993
たな卸資産	713,205	1,377,166
その他	413,594	762,727
流動資産合計	10,610,528	9,770,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	340,626	767,969
機械装置及び運搬具(純額)	226,154	454,822
土地	1,680,618	1,680,618
建設仮勘定	645,247	4,765
その他(純額)	103,954	106,198
有形固定資産合計	2,996,601	3,014,375
無形固定資産		
のれん	412,270	274,846
その他	229,923	183,068
無形固定資産合計	642,193	457,915
投資その他の資産		
その他	1,218,976	1,338,848
貸倒引当金	△71	△71
投資その他の資産合計	1,218,905	1,338,777
固定資産合計	4,857,700	4,811,068
資産合計	15,468,228	14,581,702

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,178,842	843,971
短期借入金	15,834	101,137
未払法人税等	518,955	60,203
賞与引当金	492,627	261,423
役員賞与引当金	124,702	57,045
その他	950,212	960,021
流動負債合計	3,281,174	2,283,802
固定負債		
役員退職慰労引当金	292,166	207,250
退職給付に係る負債	973,716	1,008,961
その他	29,011	31,962
固定負債合計	1,294,895	1,248,173
負債合計	4,576,070	3,531,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	637,635	638,485
資本剰余金	551,295	552,145
利益剰余金	9,516,409	9,663,252
自己株式	△770	△770
株主資本合計	10,704,570	10,853,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,140	81,304
為替換算調整勘定	114,359	70,402
退職給付に係る調整累計額	△34,658	△16,812
その他の包括利益累計額合計	177,841	134,894
非支配株主持分	9,745	61,718
純資産合計	10,892,157	11,049,725
負債純資産合計	15,468,228	14,581,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	11,702,891	11,562,765
売上原価	7,968,966	7,930,048
売上総利益	3,733,924	3,632,717
販売費及び一般管理費	2,719,877	2,927,977
営業利益	1,014,046	704,739
営業外収益		
受取利息	2,500	1,399
受取配当金	3,578	3,776
受取保険金	18,538	21,111
作業くず売却益	12,189	10,805
為替差益	38,191	—
その他	10,463	11,497
営業外収益合計	85,461	48,591
営業外費用		
支払利息	3,098	3,026
固定資産除却損	2,092	13,002
為替差損	—	77,307
その他	226	155
営業外費用合計	5,418	93,492
経常利益	1,094,090	659,838
特別利益		
固定資産売却益	394	2,888
特別利益合計	394	2,888
特別損失		
固定資産売却損	122	806
特別損失合計	122	806
税金等調整前四半期純利益	1,094,362	661,920
法人税、住民税及び事業税	523,875	245,288
法人税等調整額	△29,354	32,697
法人税等合計	494,520	277,986
四半期純利益	599,841	383,934
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,012	26,260
親会社株主に帰属する四半期純利益	597,829	357,673

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	599,841	383,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,793	△16,836
為替換算調整勘定	△10,365	△61,093
退職給付に係る調整額	16,433	17,846
その他の包括利益合計	44,861	△60,083
四半期包括利益	644,703	323,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	641,525	303,865
非支配株主に係る四半期包括利益	3,178	19,984

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	マーケティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,511,405	1,191,485	11,702,891	—	11,702,891
セグメント間の内部売上高 または振替高	7,678	32,572	40,251	△40,251	—
計	10,519,084	1,224,057	11,743,142	△40,251	11,702,891
セグメント利益	1,088,152	58,817	1,146,970	△132,923	1,014,046

(注)1 セグメント利益の調整額△132,923千円には、セグメント間取引消去4,500千円、のれんの償却額△137,423千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	マーケティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,333,277	1,229,488	11,562,765	—	11,562,765
セグメント間の内部売上高 または振替高	10,608	36,111	46,720	△46,720	—
計	10,343,885	1,265,600	11,609,485	△46,720	11,562,765
セグメント利益	803,948	34,614	838,562	△133,823	704,739

(注)1 セグメント利益の調整額△133,823千円には、セグメント間取引消去3,600千円、のれんの償却額△137,423千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。